

Red Hat Partner Community Seminer ~ RHPDS デモ~

最終更新: 2021年 12月

パートナーソリューションアーキテクト部

アソシエイトプリンシパルソリューションアーキテクト

岡野 浩史



Red Hat Product Demo System はパートナープログラムの1つ 以下のような特典をご提供しています!

- 特別価格の適用
- 案件登録プログラムへの参加
- リベートの設定
- 更新プログラム適用
- 担当CAMのアサイン
- Partner Training Portal (旧 OPEN) の提供
- レッドハット公式トレーニングの割引
- デモや開発に利用できるサブスクリプション(NFR)の提供
- ベータプログラムへの参加
- パートナーニュースレターの配信
- 技術および営業資料へのアクセス (Connect)
- Red HatのWebサイトへの掲載
- プログラムロゴの使用
- 事例、ホワイトペーパー、製品資料の共同作成
- プロダクトデモシステム RHPDS の利用(ABP 以上)



RHPDS とは? - LAB 環境だと OPENTLC もありますが・・・!?

Red Hat Product Demo System (RHPDS)

Red Hat 製品およびその関連製品の LAB 環境を提供。旧OPEN の e-LAB (OPENTLC) と類似。違いは以下の通り。

- ・LAB 手順書が Github などで公開されていて個別入手(ダウンロード)可能
 - ・OPEN は学習コンテンツ込みなので、手順書は OPEN 内でのみ提供
 - ・LAB 手順書の提供方法・品質は BU によりマチマチで統一感がない 環境のみ提供で手順書が無いものも多い(探すのが大変)
- ・顧客向けのハンズオンワークショップの提供が可能(一部のコンテンツのみ)
- ・他社との連携ソリューションを含めた実環境が手に入る
- ・複数バージョンが提供されている物もあり、環境が新しい

RHPDSとは? - どんな使い方がある?

・自身の学習・顧客向けのデモ Red Hat 製品(単独、連携)

例: OpenShift、ACM、Ansible Tower の連携動作

関連他社製品との連携

例:上記 + Servicenow

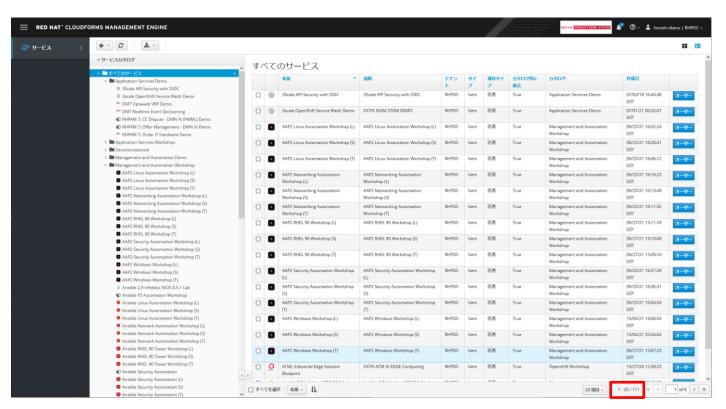
・顧客向けのハンズオンワークショップの開催 顧客環境もデプロイできるコンテンツもあり(Ansible / OpenShift)

例:Ansible は Max 50 台の生徒用環境払い出しが可能

・バージョン違いの確認を行う(特に OpenShift のUI、動作・環境)

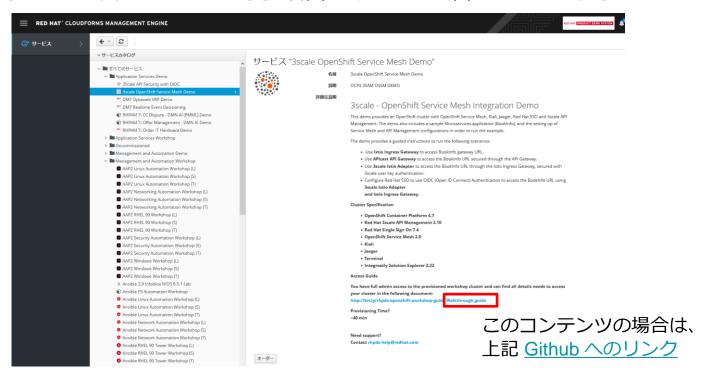
RHPDS コンテンツ - 111個 (2021/12/1 現在)

新バージョンが出て、古いコンテンツが削除されるという新陳代謝が繰り返されており、最新のコンテンツも多い。



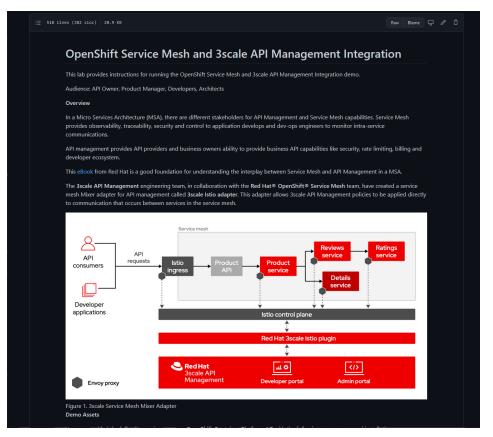
RHPDS - LAB 内容と手順書の入手に関して

- コンテンツの概略:各デプロイメントサイトに記載
- LAB手順書:リンク(GithubやYoutube)が記載されているコンテンツも多い
 - ※ 環境デプロイ後にメールで手順書のリンクが届くものもある



RHPDS - LAB 内容と手順書の入手に関して

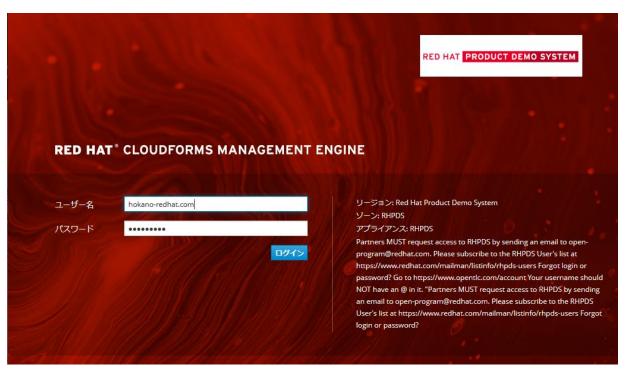
リンク先のLABマニュアル



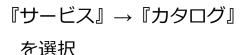
RHPDS - 使ってみよう

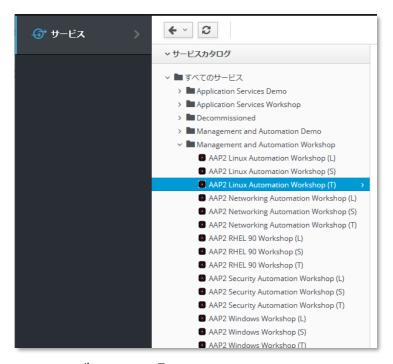
以下のサイトにログインします。

https://rhpds.redhat.com/

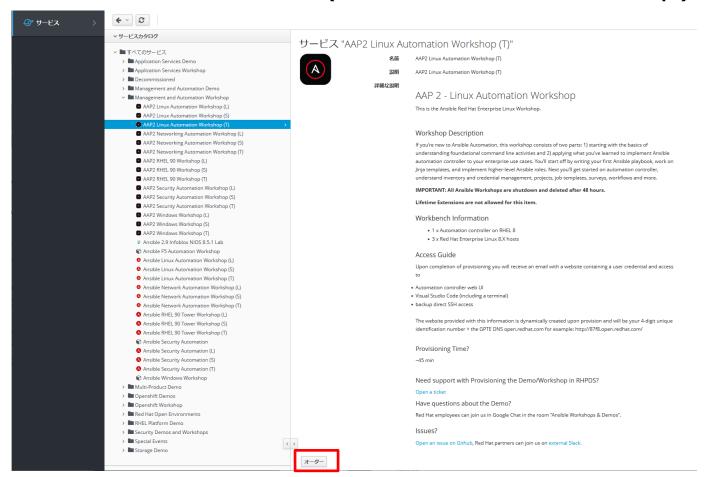


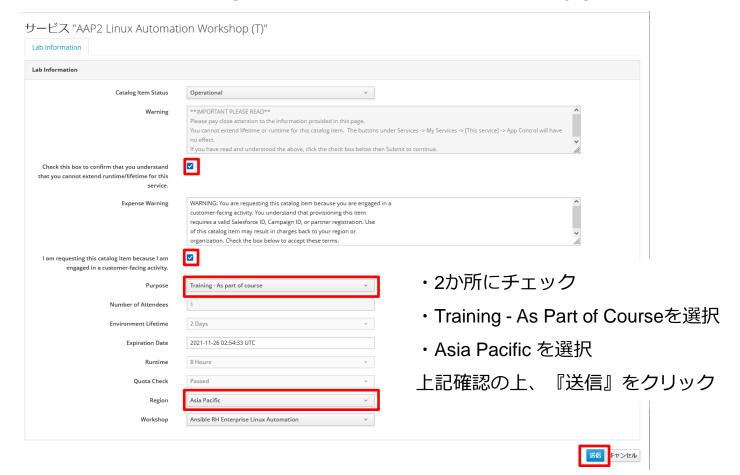






『すべてのサービス』→『Management and Automation
Workshop』→『AAP2 Linux Automation Workshop (T)』を選択
※(S)は Max 15個、(L) は Max 50個 ワークショップ用に作成可能







これで環境のデプロイは完了です。デプロイ完了まで1時間半くらい待ちます。 完了すると、その旨メールが届きます。

RHPDS - 環境構築完了メール受信と内容の確認

デプロイを行うと、メールが3通(デプロイ開始、完了までの概算時間、完了)ほど届きます。 完了時に届くメールにはアクセス方法が記載されていますので、内容をご確認ください。 今回は Ansible Workshop の例を記載しましたが、他の環境も同じような作りです。 メールの内容を良く確認し、一番下のURLにアクセスします。

Thank you for ordering AAP2 Linux Automation Workshop (T)

Your environment for RHPDS-DEM-hokano-redhat.com-PROD AAP2 ANSIBLE WORKSHOPS- COMPLETED has been provisioned.

Access to the environment will be granted as soon as the environment deployment is complete.

Please refer to the instructions for next steps and how to access your environment.

Troubleshooting and Access issues:

Always refer to the instructions to understand how to properly access and navigate your environment. If you need help using the SSH client on your computer you can consult http://www.opentlc.com/ssh.html.

NOTICE: Your environment will expire and be deleted in 2 day(s) at 2021-11-25 00:00:00 -0500.

In order to conserve resources, we cannot archive or restore any data in this environment. All data will be lost upon expiration.

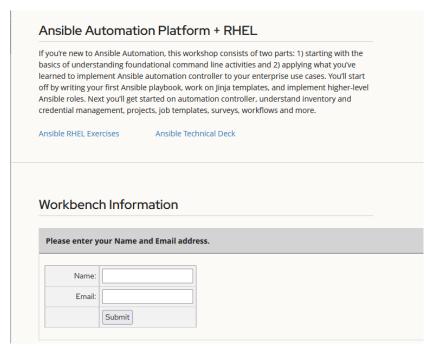
Here is some important information about your environment:

Ansible Workshop and Student VMs are available at: http:// .example.opentlc.com

RHPDS - 環境の取得

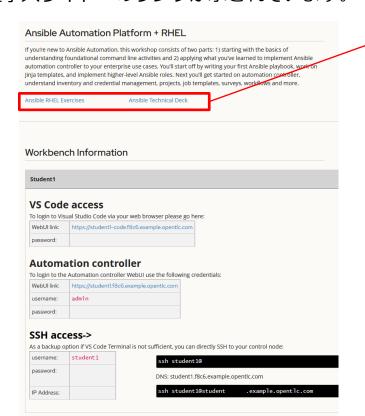
名前とメールアドレスを入力して、自分専用の環境にアクセスします。

※顧客向けのワークショップの場合は、最大50個の環境が同時に作成されますが、名前とメールアドレスを Submit することで、自分用のユニークな環境が予約され、利用可能となります。今回は (T) ですのでデプロイされた1つの環境を自分用に予約することになります。

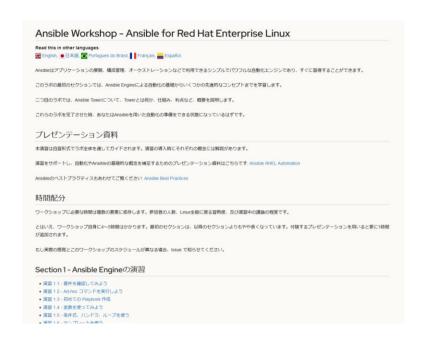


RHPDS - ラボガイドの表示

ユニークに与えられた環境が表示されました。また、上部には、ラボガイドへのリンク(Github)と、座学スライドへのリンクが示されています。

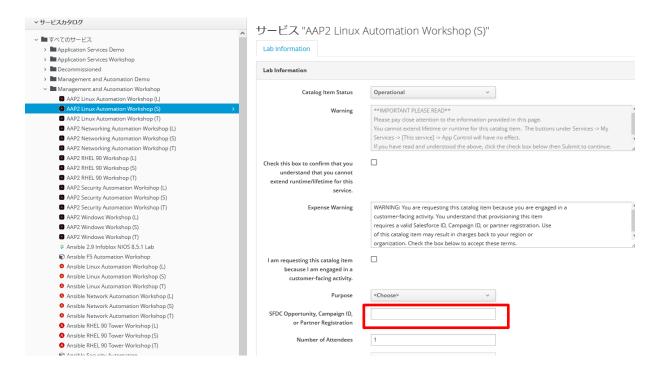


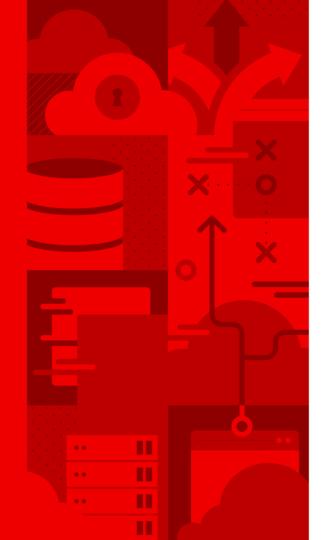
『Ansible RHEL Exercises』 をクリック すると、ラボガイドが表示されます!



RHPDS - Tips

デモコンテンツの中には、実案件と紐づいている場合にのみデプロイできるものがあります。例えば、先ほどデプロイした(T)ではなく、(L)と(S)では、弊社の SFDC番号の入力が求められます。OpenShift のデモコンテンツも多くが SFDC 番号必須となっています。案件情報が必須のデモの実施に関しては、弊社担当営業までお問い合わせください。





Thank you

Red Hat is the world's leading provider of enterprise open source software solutions. Award-winning support, training, and consulting services make Red Hat a trusted adviser to the Fortune 500.

- in linkedin.com/company/red-hat
- f facebook.com/redhatinc
- youtube.com/user/RedHatVideos
- twitter.com/RedHat

